

課題番号： 1

テーマ名称：保健（UHC）

1. 主な対象国・地域	アフリカ大陸の全 54 カ国を対象とする。特に、前回の TICAD6 でユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC） ¹ 推進国とされたケニア、ガーナ、セネガルの 3 カ国、及び、JICA が保健分野の協力を実施しており、Doing Business ランキング ² で比較的上位にある等で民間セクター進出の環境が見込める国での提案を推奨する。
2. 分野	保健（UHC）
3. 関係する SDGs ターゲット	3.8 すべての人々に対する財政保障、質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセス、および安全で効果的、かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンのアクセス提供を含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。（注：ターゲット 3.8 は、ゴール 3 の他のターゲットを通底するもの）
4. 対象国・地域の当該分野の全般的な現状	（１） 1990 年から 2015 年の間で、5 歳未満児死亡率は出生千対 179 から 86 へ、妊産婦死亡率は 10 万出生対 990 から 510 へ減少するなど大きく改善したが、MDGs の目標達成に至らず、世界平均から大きく後れをとっている。（世界平均は、それぞれ、90→43 と 380→210） （２） 健康指標の改善には、個別の疾病対策等のみならず、良質な保健サービスが負担可能な費用で受けられる UHC の実現が不可欠。TICAD6 後、アフリカ諸国では UHC に向けた取組みが政策面・サービス提供面で一定程度進展しているが、グローバルな目標としての 2030 年までの UHC 実現に向け、アフリカと世界の取組みを加速させる必要あり。
5. 解決すべき課題	アフリカ 12 億人の総健康社会を実現するには、イノベーティブな取組みと持続的な国内資源動員が必要。特に、基礎的な保健医療サービスに多くの人々がアクセスできていない現状を打破するためには、情報通信・物流技術等のイノベーションで物理的な障壁を取り除くことが必要であり、民間企業や研究機関、STI（科学技術イノベーション）、日本の知見等を積極活用する余地が大きい。予防・健康増進（水、衛生、栄養等の分野を含む。）、診断、治療、リハビリ

¹ UHC とは「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」ことを意味し、すべての人が経済的な困難を伴うことなく保健医療サービスを受受することを目指しています。

<https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/UHC.html>

² <http://www.doingbusiness.org/>

	<p>りといった一連の保健サービス提供の中で、次の優先課題の解決に貢献する技術が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症：特に、健康負荷が大きいエイズ、結核、マラリア、WHOが指定する顧みられない熱帯病の対策 ・母子保健：特に、改善が遅れている妊産婦死亡および新生児死亡の削減 ・非感染性疾患：特に早期診断、重症化の予防
6. 上記をとりまく状況	<p>「UHC モニタリング報告書 2017」等によると、アフリカの総人口12億人のうち少なくとも8億人（3人に2人）が基礎的サービスにアクセスできず、年間1400万人が医療費負担の結果極度の貧困に陥っている現状あり。</p>
7. 活用が想定される技術・製品・ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術の開発、検証（例：携帯電話を活用した早期警戒システムや住民啓発、e-learningを活用した保健人材の育成） ・革新的ビジネスプランの試行（例：現場の医療従事者が簡易に携帯できる検査・診断機器、スマートフォン等による身長測定、手軽に携行できる衛生製品・栄養食品） ・事業化、スケールアップ（例：効果が科学的に実証されている感染症予防製品等の事業化）
8. 主要関連政府機関・ステークホルダー	<p>アフリカ各国政府 世界銀行（イノベーションを推進）</p>
9. 当該国・課題に対する日本政府・JICAの方針・戦略、関係するODA事業、他ドナー情報	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ各国に対する事業展開計画 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/index.html#section1 ・JICA 開発途上国課題発信セミナー（保健・医療・福祉）資料 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/news/ku57pq00002jdrb9-att/20190313_04.pdf ・JICA の保健分野の協力ー現在と未来ー https://www.jica.go.jp/activities/issues/health/ku57pq00002cy8ad-att/position_paper_health.pdf ・SDG ポジションペーパー ゴール3 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/ku57pq00002e2b2a-att/goal03_j.pdf
10. 留意点・リスク	<p>・革新的であるとともに、アフリカの現状を踏まえて、保健人材の量や能力が不足している地域でも活用可能な技術、維持管理を含め経常経費の増加を抑えられる（あるいは経常経費の節約に繋がる）技術を歓迎。特に、政府機関を顧客とする場合は、予算措置（開発予算、経常予算）の可能性に十分配慮したビジネスモデルが必要。</p>

	・人々の健康を守る（病気やけがを防ぐ）ための、水、環境衛生、栄養分野との連携、もしくは分野横断的な提案も歓迎。
11. その他参考情報	

※科学技術イノベーション（STI）を含む新しい技術の活用の積極的な提案を期待しています。

【STI（Science, Technology and Innovation）】

科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結びつける革新。アフリカでは、モバイル技術等を活用した革新的なサービスも急速に普及してきており、課題解決及びSDGs達成のツールとしてSTIの活用が期待されています。革新的な技術により、これまで開発の成果が届かなかった人、場所に開発の成果を届けることができたり、革新的な効率化や質の向上を図り、時間的、費用的にコストを大幅に引き下げるなどの効果が見込まれます。